

重点施策 「いつでも・どこでも・だれでも」学べる生涯学習の推進	評価実施者	所 属	社会教育課
		職・氏名	課長 景由隆寛

重点施策の概要	目 的	「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、成果を生かした生涯学習を推進するため、生涯学習情報をインターネット等を通じて発信するとともに、学びの仲間づくりや成果発表の機会の拡充など、子どもから高齢者まで生涯各期の生き生きとした生涯学習活動を推進します。			
	今年度の主要事業	「子どもの育成」をテーマとした地域の仲間づくりの推進(継続)			

事業の目標と実績	区 分		単 位	H24	H25	H26	特記事項
	1	2					
1	地域等との連携による事業を実施した地区育成会数	目標	回		7	7	
		実績			2	6	
2							

事業の分析 効果の検証	[事業の分析] 西地区青少年育成会は3泊4日の通学合宿、中地区青少年育成会は第一小学校児童との集団下校訓練を平成25年度に引き続き実施した。また平成26年度より新たに東地区と東滝川地区育成会は合同で2泊3日の通学合宿、北地区と江部乙地区は合同で凧揚げイベントを実施した。東滝川の自然や丸加高原の自然等、それぞれの地区が各地区の“持ち味”を生かした事業を子どもたちに示したことで、子どもたち自身も自分たちが生活する環境を知るきっかけとなり、地域資源の価値を支援者として参加した地域のみなさんと共に再認識することができた。
	[効果の検証] 「子どもの育成」というテーマは各世代をつなぐ力があり、事業を起ち上げる際に理解も得られやすいことが改めて確認できた。地域の子どものために実施した事業を通じて地域の大人たちの繋がりができ、その繋がりが地域の教育力を高める大きな一助となっている。
課題	事業を展開するにあたり各地区の“持ち味”を生かすことが大きなポイントとなるが、市街地にある地区は“持ち味”を表しづらい傾向にある。地区の“持ち味”を支援者たる大人たちがいかに気づいて事業に盛り込むことができるか。

評価	A	<b>評価の視点1 期待どおりの効果があったか</b> 全市的な波及もあり、期待どおりの効果があった。
		<b>評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか</b> 各地区にて青少年育成会の自発的な動きが生まれているので、事業の見直しは必要ない。

【評価の区分】

- A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
- B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
- C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
- D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	青少年育成会を核とした地域づくりの流れができつつあることから、市内7地区青少年育成会が「子どもの育成」をテーマに地域の“持ち味”を生かした事業を通じて、地域コミュニティの強化につながるよう今後とも支援をしていく。
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 質的向上 <input type="checkbox"/> スピードアップ <input type="checkbox"/> 検証 <input checked="" type="checkbox"/> 継続

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	他の地区の取り組みを紹介するなど、地域に対する投げかけにおいて工夫が必要。
---------------	---------------------------------------